

①事務事業名		担当 課係	内線	1173
事業コード	豊前市観光ルートマップ作成事業		まちづくり課 観光係	
開始年度: 平成	22年度 ⇒ 終了年度: 平成 23 年度			

②事務 の 位 置 づ け	事業の種類	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		
	根拠法令	☐ あり () ☒ なし		
	分野別計画・指針	☐ あり () ☒ なし		
	総合計画の体系 (☒ あり ☐ なし)	5つの柱	2	活力たえ夢あふれるまちづくり
		まちづくりの目標	3	いきいきと働く活力あるまち
		基本方針	9	観光の振興
		施策区分	19	観光

③事業の概要・内容(Plan)

事業の概要	市内には、さまざまな観光名所、史跡等が存在するがテーマごとのルートや季節ごとの周遊ルートを設定しておらず、既存の観光マップだけではPR効果がやや薄いため、新たな観光ルートマップを作成し、観光客の誘致を行う。 緊急雇用創出事業により新規雇用を行い、業務は既存の観光資源の整理、新規の観光資源の掘り起こし、ルートマップの原案を作成する。
-------	--

事業 の 内 容	対象(誰を対象としているのか)
	豊前市を訪れる観光客が中心であるが、市外でのイベント会場等にて直接配布しPRする。
	目的(何のために行うのか、具体的に) 豊前市の自然や文化財、史跡の紹介をはじめ観光やイベント等の情報発信、農水産品や特産加工品を広くPRし、豊前市の魅力をより多くの方々に知っていただくことを目的とする。 手段(どのような方法で実施するのか) 豊前市内にある各観光施設に配布し、観光客に周知してもらう。また、市内外のイベント時に豊前市の地域情報コーナーを設け、直接配布する。

④事務事業の実施状況・現状把握(Do)

活動 指 標	指標名等(説明・算定式)	単位	H21	H22	H23	H24	H25
			実績	実績	目標	目標	目標
観光ルートマップ作成	雇用人数	人		1	1		
	印刷代	千円		750	750		

成果 指 標	指標名等(説明・算定式)	単位	H21	H22	H23	H24	H25
			実績	実績	目標	目標	目標
観光ルートマップ	印刷部数	千部		34	35		
指標化(数値化)できない成果							

事業 費	事業費(単位:千円)		決 算 額		予 算 額	計画(概算見積もり)	
			H21	H22	H23	H24	H25
	財 源 内 訳	国・県支出金	0	2,334	2,882		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
	事業費合計 (b)		0	2,334	2,882	0	0

⑤事務事業の評価 (Check)

必要性	公共性は	☒ 高い ☐ 普通 ☐ 低い			
	住民ニーズは	☒ 高い ☐ 普通 ☐ 低い			
	現時点でこの事業を取り巻く状況に該当するものは	☐ 1 事業開始時と比較して社会経済状況が変化、または目的がすでに達成されたなど実施意識が低下している。			
		☐ 2 ニーズと比較してサービスの供給が過剰となっている。			
		☐ 3 国や他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある。			
		☐ 4 国または県において、同種のサービス提供が行われている。			
		☐ 5 民間の活動を阻害、あるいは民間と競合している。			
☒ 6 上記に該当する項目はなく、市による事業は妥当である。					
有効性	上位施策に対する貢献度は	☐ 1 政策・施策への貢献度が著しく高いとはいえない。			
		☐ 2 政策・施策の目的を実現するためには、実施内容が必ずしも適切ではない。			
		☐ 3 当該事業を現在の実施内容で継続しても、成果の向上が期待できない。			
		☐ 4 類似・重複した事務事業が存在する。(事業名)			
	☒ 5 上記に該当する項目はなく、上位施策への貢献度を認められる。				
目標に対する達成度は		☐ 非常に高い ☒ 高い ☐ 低い ☐ 非常に低い			
効率性	単位コストの状況は	☐ かなりよかった ☒ よかった ☐ 変わらない ☐ 悪くなった ☐ かなり悪くなった			
	事業費や人件費削減の工夫は	☐ 1 従事人員の見直しによりコストを下げる余地がある。			
		☐ 2 事務改善(手順の見直し・作業の効率化・IT活用等)によりコストを下げる余地がある。			
		☐ 3 契約内容の変更によりコストを下げる余地がある。			
		☐ 4 他の実施主体の活用によりコストを下げる余地がある。			
		☐ 5 その他見直し・変更によりコストを下げる余地がある。(受益者負担等)			
		選択しなかった根拠	☒ 1 既に活用している。		
			☐ 2 法的に行政職員が行うべき。		
			☐ 3 市民サービスが低下する。		
			☐ 4 他の実施主体が持つ専門知識、経営能力、技術力等を活用できない。		
☐ 5 コスト削減が期待できない。					
☐ 6 公平性・公正性、守秘義務が保証されない。					

⑥事務事業の改善 (Action)

所属長所見	今後の方向性等(所属長所見・意見等)			
	旅行者の多様なニーズに対応できるよう、点(単独)だけではなく、線(複数)としての観光情報が発信できるような観光ルートマップの作成を行うことにより、滞在時間の長い着地型観光の提案ができるようにする。			
評価	- 充実 - 現状維持 - 改善 - 縮小 - 廃止	充実	意見等	
			今後も豊前市単独でなく、宇佐市、豊後高田市などと連携し、東九州自動車道開設後のルートを含めて更なる観光施策を実施してもらいたい。	
			作成年月日	平成23年 6月30日